

まちづくり新聞



第41号

令和2年8月1日発行

発行:瑞浪地区まちづくり推進協議会

編集:総務広報部

発行責任者:坂井宗明



好天の5月17日(日)朝から、上山田区の皆さんと瑞浪地区まちづくり推進協議会メンバー合わせて25人という少人数でモチ米の苗の田植えとさつま芋、里芋、ポップコーン用トウモロコシの苗植えが行われました。

新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中での実施決断だったので、例年とは違い新型コロナウイルス感染対策をお願いすることから始まりました。「密集・密接を避けるためにマスクを着用し、2メートル以上離れて作業をしてください。」と指示した後、田植えチーム・さつま芋植えチームと里芋植えチームの3チームに分かれて11時半頃まで作業は行われました。近くの小川で汚れた農機具を洗い終わる頃、正午を知らせるサイレン。市内の飲食店に

上山田地区の農家の方から田植え機をお借りし、何とか運転指導を受けたものの慣れないまちづくりメンバーは田んぼの土の凸凹で何回も立ち往生。その様子を見ていた農家の方が「頑張ってるな」「もう少し真つすぐに植えなきゃあ」「その調子だ、いいぞッ」など、笑いながら暖かい指導と声援が飛び交っていた。

初めての田植え機の操作に苦戦!



新型コロナウイルスのまん延を防ぐために、参加者一人一人が予防と感染拡大防止に努めることが必要であると感じました。多くの事業が中止される中、田植えや芋の苗植え作業も実施することを迷いましたが、この日に参加した皆さんの笑顔と秋の

こうした中、「瑞浪地区まちづくり事業」に対し、皆さんにお力添えいただいていることを感謝申し上げます。

家族ふれあい芋煮会で
子ども達の笑顔に出会えることを願って!
田植えと芋の苗植えを少人数で

発注していたテイクアウト弁当を食べながら、この町に一日も早い活気と笑顔が戻ってくることを願った。
新型コロナウイルスのまん延を防ぐために、参加者一人一人が予防と感染拡大防止に努めることが必要であると感じました。多くの事業が中止される中、田植えや芋の苗植え作業も実施することを迷いましたが、この日に参加した皆さんの笑顔と秋の



収穫祭「家族ふれあい芋煮会」で子ども達の笑顔に出会えることに力づけられました。
当たり前前

にしていた市民の生活の営みが当たり前でなくなり、これからは今までの生活様式も社会の仕組みも変わると思います。今までの生活様式を見直す良い機会だと思えます。

令和2年度

瑞浪地区まちづくり推進協議会

組織と推進事業

瑞浪地区区長会

顧問：伊藤 修二
 // 小寺 敏夫
 // 伊藤 慶和
 // 工藤 仁士
 監事：目黒 浩二
 // 大西 雅之

会長 坂井 宗明
 副会長 河口 敦子
 副会長 伊藤 猛司

参与(総務広報担当)：樋田 翔太
 // (防災防犯担当)：柴田幸一郎
 // (健康福祉担当)：辻 正之
 // (青少年育成担当)：渡邊 康弘

総務広報部 (絵手紙教室・花の苗配布・まちづくり新聞)

部長 有賀保英 副部長 日比野善信 副部長 肥田秀子
 平井健一 (中組) 有賀正明 (新山田) 成瀬通哉 (西本町) 宮島 光 (公園) 石田智久

防災防犯部 (AED講習会・自主防災訓練・青色回転パトロール)

部長 林 則夫 副部長 柴田幸一 副部長 大西雅之
 原田 勲 (入ヶ洞) 市川信義 (下小田) 三宅昌彦 (上本町) 堀 正幸 (ひばりヶ丘)
 深谷堅一 (下一色) 久保田晃弘 (協力中屋敷一) 古田 実 (協力中屋敷二) 只腰一夫 (協力和合)

健康福祉部 (土岐川堤防健康ウォーキング・健康講演会)

部長 伊藤猛司 副部長 金井 博 副部長 本荘喬史
 遠藤透雄 (竜門) 伊藤慎介 (上小田南) 中垣泰広 (水の木) 小木曾淳 (大法原団地)
 佐々木知子 (北上野) 木股秀樹 (千寿会) 加藤憲人 (協力大法原) 成瀬賢二 (協力中原東)
 成瀬浩二 (協力中原西) 古川裕之 (協力西原)

青少年育成部 (家族ふれあい芋煮会・美化啓発活動・万尺川に蛸を・日本ミツバチ飼育)

部長 萩尾英明 副部長 森本友美 副部長 岩島辰也 副部長 田口憲治
 保母哲也 (浪花) 有賀憲伸 (下山田) 倉野信一 (上小田北) 小木曾孝廣 (高月)
 林明伸 (明賀台) 稲垣秀司 (上一色) 吉田雅紀 (穂並) 安藤守量 (下山田団地)
 若尾昌徳 (南上野) 瀬瀬祐介 (協力東原) 板橋若良 (協力竹尾) 村瀬 大 (協力市場)
 有賀幹男 (協力台) 安藤英雄 (協力穂菜の会)

夢づくり地域活動支援室

地区支援総括：加藤百合子
 まちづくり支援総括：有賀 大輔
 まちづくり支援職員：加藤 利基
 瑞浪地区集落支援員：長瀬 貞次



部会紹介

総務広報部



担当部員は8人。担当事業は①まちづくり新聞発行 ②コミュニティ花壇の整備花の苗配布 ③絵手紙教室の開催です。

・まちづくり新聞は、昨年までの年3回発行を今年度からは、全員カラーで年2回といたします。

花の苗の配布は、春秋年2回行います。春は、ベゴニア・サルビアなど4種類、秋はビオラとパンジーの2種類を瑞浪地区内の自治会

や長寿会などの団体に配布し、公共の花壇に植えられています。

・絵手紙教室は、まちづくりの自主事業として年4回、6月・9月・12月・3月の第1土曜日の午後1時30分から西分庁舎で開催しています。



《有賀部長からの一言》

瑞浪地区の皆さんに「親しまれる内容」の新聞を発行していきたいと思えます。

防災防犯部



担当部員は11人。担当事業は①青色回転灯防犯パトロール ②自主防災訓練 ③普通救命講習会です。

・青色回転灯防犯パトロールは、毎週金曜日午後6時50分に瑞浪市役所西分庁舎前に集合し実施しています。

今年度から、第1金曜日は寺河戸地区を、第2金曜日は小田地区を、第3金曜日は山田地区を中心に実

施します。

・自主防災訓練は、12月の第1日曜日の午前9時から瑞浪市中央公園で各区役員の皆さんを中心に自然災害を想定して行います。

・普通救命講習会は、消防署員による心肺蘇生法・AED講習会を開催し、緊急時の対応を学びます。



《林部長からの一言》

自分の命は自分で守る事を学習したいと思えます。

青少年育成部



担当部員は18人。担当事業は①家族ふれあい芋煮会 ②万尺川に蛭を ③美化啓発活動うちわ配布 ④二ホンミツバチ生態調査の実施です。

・家族ふれあい芋煮会は、地域の「子どもが主役」となって作物を育てる農業体験と食物の大切さを知っていただくために、秋に地域と家族の絆を強くするために、収穫祭として家族ふれあい芋煮会を実施します。

・「万尺川に蛭を」は、万尺川周辺の環境美化保全推進していくため、蛭放流前の3月末に川を清掃し、6月

上旬には蛭を鑑賞し家族の絆を深めます。

・うちわ配布は、地域の夏祭り会場で「私たちの街は、私たちの手で美しく」など印刷したうちわを配布し美化啓発活動を行います。

・二ホンミツバチ生態調査は、街の美化と環境保全事業を実施するため、環境指標生物でもある二ホンミツバチを飼育、生態について学習します。(試行事業)

《秋尾部長からの一言》

子どもが主役となって活動します。地域のみなさんご協力をお願いします。



健康福祉部



担当部員は13人。担当事業は①土岐川堤防健康ウォーキング ②健康講演会の開催です。

・土岐川堤防健康ウォーキングは、土岐川に架かる5つの橋をチェックポイントにした6.8キロを健康増進と活

《伊藤部長からの一言》
健康に暮らすことが一番重要です。

発なコミュニケーション増を図る目的で5月と11月の年2回開催します。

・健康講演会は、健康に関する知識向上を図るため開催します。



瑞浪地区まちづくり総会は 書面決議で承認

新型コロナウイルス感染拡大防止により4月23日に予定されていた総会が書面決議となり、①令和元年度事業報告 ②決算監査報告 ③組織 ④令和2年度事業計画 ⑤令和2年度予算の以上5議案が過半数の承認で可決されましたので報告いたします。まちづくり委員の皆さんのご協力ありがとうございました。

令和2年度 コミュニティ花壇整備事業

コミュニティ花壇の整備、春の花の苗が配布される

6月5日(金)、新型コロナウイルス感染防止のため、事前申し込みのあった瑞浪地区23団体に、午前9時から30分毎に6団体程度つつ市役所車庫棟の配布場所でもリーゴールド・ベゴニア・サルビア・バーベナを400ポット配布し、地域の公園の花壇や街路に植え付けられました。



土岐川堤防



上山田公民館前広



瑞浪市中央公園



公園通り



万尺公園

令和2年度 瑞浪地区まちづくり主な事業(予定)

9月13日(日) 午前8時から
稲刈り 家族ふれあい農園

*尚、9月に予定されていた絵手紙教室(5日)と救急救命講習会(23日・24日)は中止させていただきます。

10月25日(日) 午前9時から
第13回家族ふれあい芋煮会 上山田公民館

11月 6日(金) 午前9時から
秋の花の苗配布 市車庫棟

11月 8日(日) 午前9時から
秋の土岐川健康ウォーキング 西分庁舎前

11月22日(日) 午後1時から
第7回健康講演会 西分庁舎会議室

12月 5日(土) 午後1時30分から
絵手紙教室 西分庁舎会議室

12月 6日(日) 午前9時から
自主防災訓練 瑞浪市中央公園

3月 6日(土) 午前10時集合
絵手紙教室 かんぽの宿恵那

3月20日(土) 午後1時から
万尺川清掃・蛍の幼虫放流 万尺川

令和2年度 環境美化保全活動

万尺川に蛍を！
源氏ホタルを放流して5年
万尺川に蛍の幼虫を放流して5年目となり、今年も6月上旬から19号バイパス下の万尺川で幻想的な蛍のあかりを見ることができずしました。写真は捕獲した蛍が交尾をするための水槽です。来年のために早く卵を産んでくれないかと毎日観察しています。



ニホンミツバチ飼育に、
ただいま苦戦中！
4月上旬から偵察蜂が飛んでくるよう誘引花「キンリョウヘン」(東洋ランの一種)を巣の近くに併置。巣箱の内側にも蜜ろうを塗りましたが、営巣場所に適さないのか6月下旬になっても新営巣場所になつてくれません。今後ミツバチが好む環境を調査したり営巣場所を増やしたりしていきたいと思ひます。



お問い合わせ
お申し込み

瑞浪地区まちづくり推進協議会事務局(瑞浪市役所西分庁舎内 集落支援員 長瀬)
TEL.68-2111(内線 365) FAX.68-2132
e-mail : sadaji.nagase@city.mizunami.gifu.jp
https://www.city.mizunami.lg.jp

瑞浪地区
ホームページ

